

各 位

2025年10月2日

株式会社 大垣共立銀行

下呂市およびバイウィルとの
「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」の締結



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、下呂市（市長 山内 登）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎）と「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を下記の通り締結しました。

本協定は、OKB大垣共立銀行と下呂市およびバイウィルがJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO₂削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルの実現に寄与することを目的とするものです。

下呂市は、美しい自然に恵まれ守り受け継いできたふるさとを次の世代に継承し、さらに同市を成長させるため、2024年5月に2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロの「ゼロカーボンシティ」を目指し、市・市民・事業者が互いに連携・協力しながら一体となって進むことを宣言しています。

OKB大垣共立銀行は、“環境価値と経済価値の循環”を支援するバイウィルと連携し、下呂市内の環境貢献努力によって創出されるJ-クレジットの「地産地消」をサポートすることにより、下呂市のカーボンニュートラル達成への貢献を目指します。

記

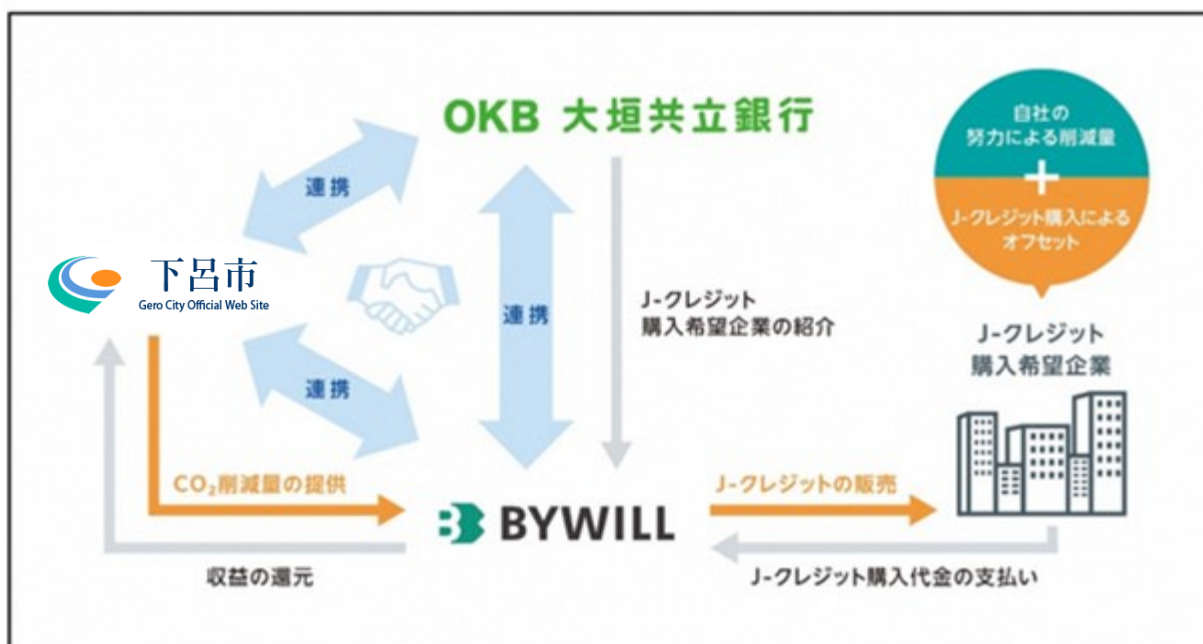
■連携協定の概要

名 称	ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定
締 結 日	2025年10月2日（木）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、下呂市、株式会社バイウィル
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO ₂ 削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与する
連携内容	1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供 2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出 3) その他、本協定の目的に資すると認める事項

以 上



【連携協定内容のイメージ】



以 上